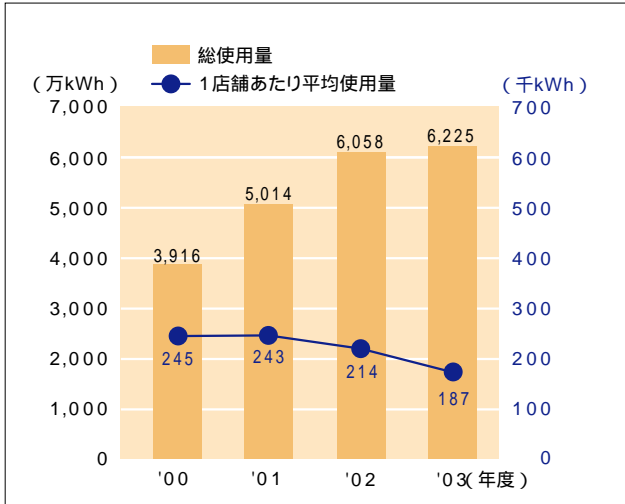
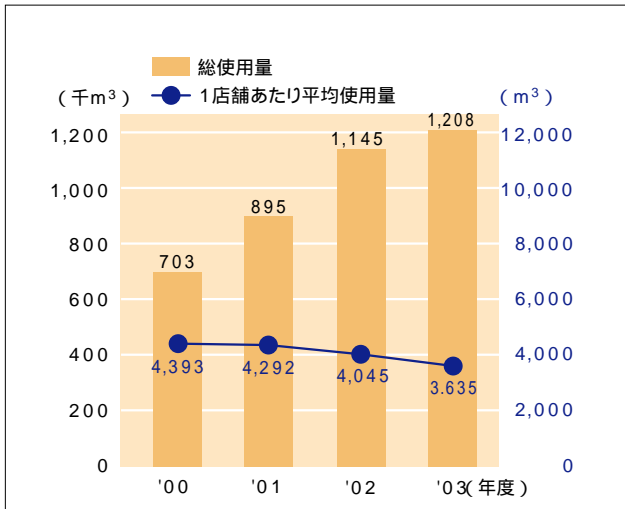


データ集

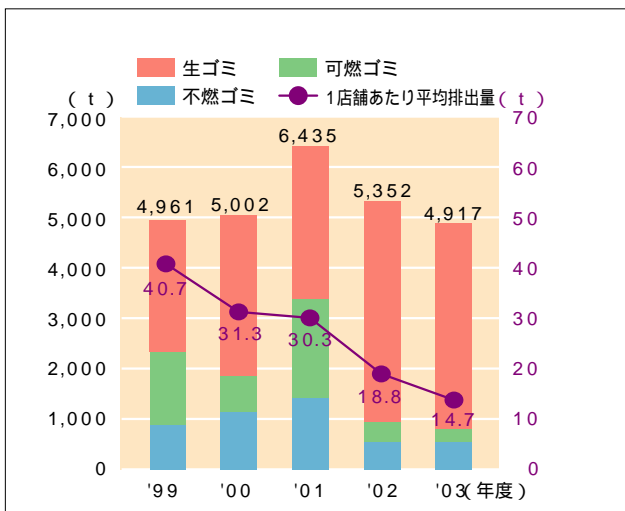
店舗電気使用量の推移



店舗水道使用量の推移



廃棄物排出量の推移



「和み亭」のおもちゃの代行販売

	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
実施店舗数	2	12	18	26	39
売上金(千円)	未集計	497	988	1,251	1,350

お食事会

	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
実施回数	2	16	22	32	33
参加社員人数	45	283	319	556	761
招待人数	107	486	491	1,131	1,115

ボランティア研修

	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
参加社員人数	41	60	153	174	295
訪問施設数	21	18	22	40	52

電子スクリーン設置店舗一覧

2004年7月末現在

居食屋「和民」

草加西口 / 上本町駅前 / 練馬 / 富士北口駅前 / 神保町 / 京急久里浜駅前 / JR津田沼北口 / 錦三伊勢町通 / 新宿御苑前 / 鶴川北口駅前 / 北新地御堂筋 / 水道橋西通り / 三田 / 南船場心齋橋筋 / 堺筋本町駅前 / 高崎西口駅前 / 四ツ谷麹町口 / 三宮フラワーロード / 塚口南口 / 京橋OBPツイン21-1F / 静岡駅前南口 / 小倉魚町平和通り / JR北新地駅前タカガワビル / 金山北口駅前 / 奈良三茶通り / 阪急豊中駅前 / 東岡崎駅前通り / 浜松有楽街 / 名鉄新岐阜駅前 / 大船モノレール / 大鳥居駅前 / JR市川北口駅前 / 船橋南口 / 府中並木通 / 新越谷駅前 / 自由が丘 / JR鶴見駅前 / 千葉富士見江澤 / 祖師谷大蔵駅前 / 武蔵小山 / 高島平駅前 / 八千代台駅前 / 亀有駅前 / 西小山駅前

「坐・和民」

横浜西口 / 中野北口 / 渋谷文化村通り / 新宿野村ビル
マークの店舗は、一時稼働していない場合がございます。

車イス対応トイレ設置店舗一覧

2004年7月末現在

居食屋「和民」

中目黒 / 武蔵中原駅前 / 南海難波駅前 / 千日前 / 菊川駅前 / 光が丘IMA公園通 / 阪神尼崎 / 名鉄新岐阜駅前

「和み亭」

大宮日進 / 与野 / 越谷南町 / 新江古田駅前 / 大鳥居 / 千葉都賀 / 足立谷中 / 西船橋 / 武蔵野関前 / 東村山 / 和光 / 武蔵境 / 青梅 / 府中若松 / 辻堂羽鳥 / 海老名中央 / 天王町 / 五反野駅前 / 蕨塚越

「T.G.I. Friday's®」

品川パシフィック / MM21クロスゲート
マークの店舗は、テナント内、共同トイレに設置

会社概要

(2004年3月31日現在)

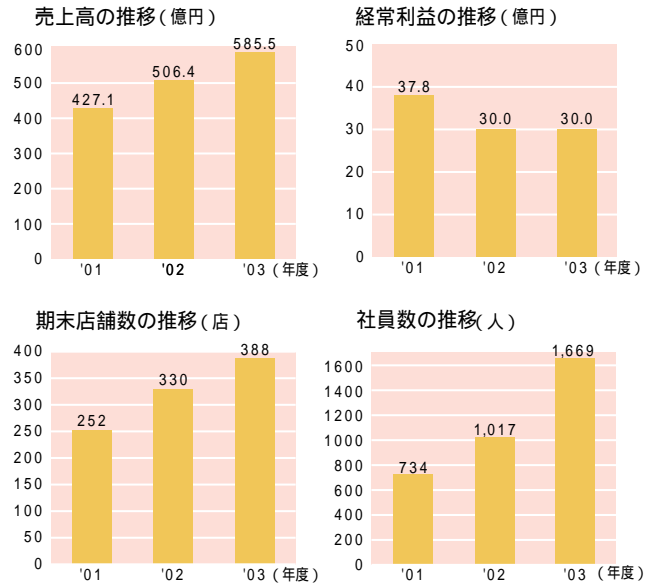
商号 ワタミフードサービス株式会社
 本社所在地 東京都大田区羽田1丁目1番地3号(〒144-0043)
 TEL(03)5737-2288 FAX(03)5737-2700
 創業 1984年4月
 設立 1986年5月
 資本金 4,318,924千円
 従業員数 1,669名(連結)(2004.4.1日現在)

関係会社

(2004年7月1日現在)

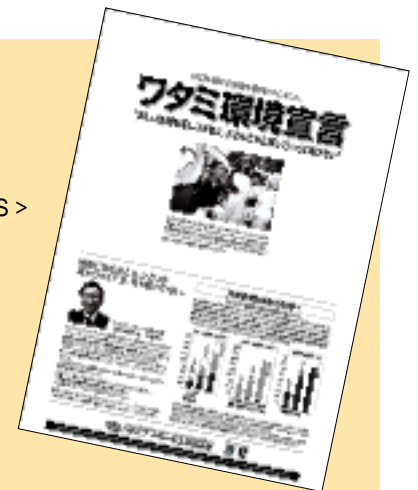
(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパン
 WATAMI USA GUAM 他1社
 和民(中国)有限公司
 ワタミダイレクトフランチャイズシステムズ(株)
 (株)渡美商事
 ワタミユニバーシティ(株)
 ワタミエコロジー(株)
 グリーンインダストリー(株)
 (株)ワタミファーム
 (有)ワタミファーム
 ワタミメディカルサービス(株)

財務データ(連結)



環境年表

- 1998年 4月 ISO14001環境マネジメントシステム認証取得に向けて活動開始
- 1999年 7月 業界初、ISO14001環境マネジメントシステム認証取得<認証機関SAS>
「ワタミ環境宣言」掲出
- 2001年 12月 環境報告書 第1版(ふれあい報告書2001)発行
- 2002年 6月 JRMリサイクルセンター第1設立(東京都足立区)
東京都23区内、容器包装系廃棄物のリサイクルスタート
- 2002年 7月 ISO14001環境マネジメントシステム認証取得・更新<認証機関JAB>
- 2002年 9月 環境報告書 第2版(ふれあい報告書2002)発行
- 2003年 3月 日本環境経営大賞「優秀賞」受賞
- 2003年 5月 生ゴミ破砕乾燥機の店舗テスト導入開始
- 2003年 7月 JRMリサイクルセンター第2設立(東京都武蔵村山市)
三多摩、神奈川、埼玉一部地区内、容器包装系廃棄物のリサイクルスタート
- 2003年 8月 第12回「日食・環境資源協力賞」受賞
- 2003年 9月 環境報告書 第3版
(ふれあい報告書2003)発行
- 2003年 11月 関西地区(大阪市内11店舗より)
リサイクルの仕組みスタート
<ビン・缶・ペットボトル・ダンボールより>
- 2004年 4月 FABEX(惣菜・弁当・外食専門展)
ブース出店
- 2004年 7月 ISO14001環境マネジメントシステム
認証取得・更新
<本社・384店舗・ワタミ手づくり厨房・
ワタミエコロジー(株)・ワタミDFS(株)>
- 2004年 8月 エネルギーマネジメントシステム
導入開始(293店舗)



(1999年7月29日付け
日経流通新聞当社広告)

日食・環境資源協力賞

店舗における電気・水使用量などの環境負荷低減に取り組み、継続的に削減効果を出すとともに、店舗から発生する廃棄物のリサイクルシステムを構築したことに「日食・環境資源協力賞選考委員会」より高い評価をいただき2003年8月、第12回日食・環境資源協力賞を受賞しました。

日食・環境資源協力賞

1992年に日本食糧新聞創刊50周年を記念して、環境保全に寄与した企業、団体などを対象として創設された賞。

2003年度ふれあい報告書 アンケート結果 (当社社員を除くデータより集計)



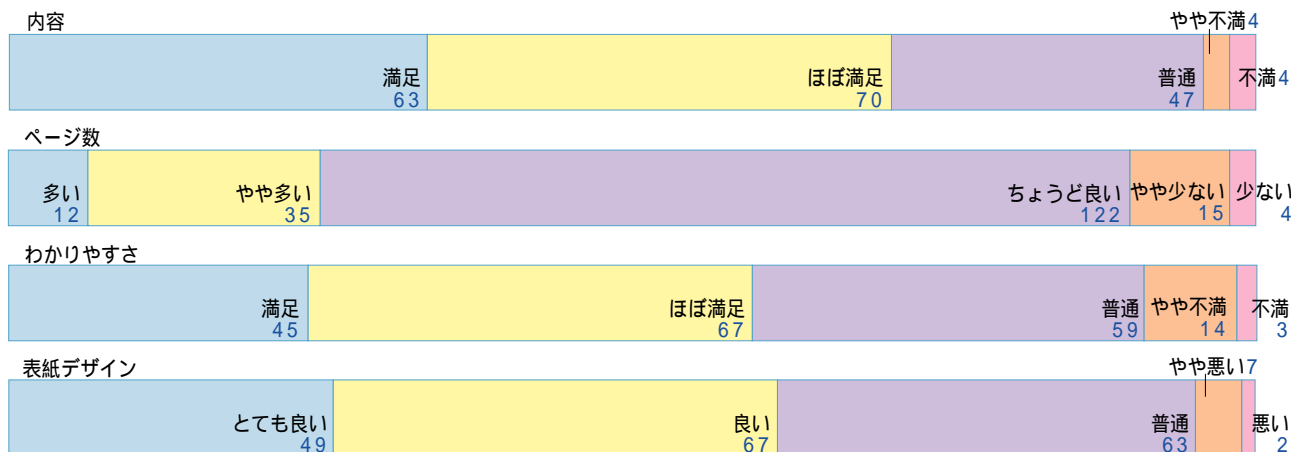
2003年度ふれあい報告書

180名を超える方々よりご意見をいただきました。ありがとうございました。
アンケート結果より、2004年度はわかりやすく親しみやすい報告書を目指し制作を行いました。また、個別の意見では、禁煙に関する取組みを掲載してほしいというご意見を頂きましたので現状の報告と昨年から新たな取組みについて(P9)掲載をさせていただきました。

Q1 どのような立場でこの報告書をご覧になっていますか？(人)



Q2 報告書についての満足度(人)



Q3 興味のある項目(複数選択可)(件)

トップメッセージ	58	環境教育	14
ワタミグループ事業活動	34	安全・安心への取組み	19
店舗での取組みの全体像	34	社会貢献(ボランティア)	23
環境管理体制	11	社会貢献(スクール・エイド・ジャパン)	33
環境目的・目標	13	リスクマネジメント	19
環境会計	16	会社概要/編集後記	7
環境パフォーマンス(店舗での取組み)	18	環境・社会活動に対する所感	8
環境パフォーマンス(ゼロエミッション)	46	興味のある項目はなかった	2
環境パフォーマンス(省エネ・節水・グリーン購入)	20		

Q4 ワタミグループの社会活動全般について、評価するとしたら以下のどれに該当しますか？(人)



ご意見・ご感想をお聞かせください。

ふれあい報告書2004をご覧いただきありがとうございました。
よりよい報告書を作るために、皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。
FAXまたは、ホームページのアンケートフォームでお送りください。

FAXの送り先

03 - 5737 - 2793

アンケートフォームでお送りいただく場合ホームページをご覧ください。

<http://www.watami.co.jp>

裏ページがアンケート用紙になっております。

過去のふれあい報告書もホームページでご覧いただけます。

ワタミフードサービス株式会社

ふれあい(環境・社会)活動に対する所感



株式会社 トーマツ環境品質研究所
代表取締役社長

古室 正充

「何のために報告書はあるのか」「報告書は誰が読むのか」
環境報告書が発行されるようになってから常に話題になっている問
いかけです。今年のワタミフードサービス株式会社(以下「ワタミ」と
いう)の報告書は、その問いに対するひとつの考え方を与えてくれた...
...そんな印象をもちました。

今年のワタミの「ふれあい報告書」の構成は、環境面、社会面などとい
った昨今多くの企業で見られるガイドラインを意識したのではなく、単
純にお店、お店以外、本部・本社の取組み(ワタミでは「ふれあい」とい
ています)の3部にまとめています。約200通のアンケートを分析し、
自分たちの原点はお客様と直にふれあうお店であるという認識のもとに、
食材の安全性や仕入れ、食品廃棄物のリサイクルにわたるいわば外食産
業のライフサイクルにフォーカスをあてたことで、従来の報告書より
わかりやすく展開されています。

報告書に限らず企業の情報開示ツールで最も大切なことは、ステーク
ホルダー(読み手)が「知りたい」ことと、企業が「伝えたい」ことのマッ
チングだと思っています。特に最近のCSR(企業の社会的責任)への関
心の高まりにより環境報告書がCSR色を帯びてきている流れの中でそ
の考え方はより重要になってきています。ワタミの報告書はそうした
時代のニーズに対する一つの回答を示しているのではないのでしょうか。

外食産業でゼロエミッションを実現したワタミのすごさ

ワタミはお店でのゼロエミッション化に外食産業ではじめて成功しま
した。ワタミの環境ビジネスの中核となるべく設立されたグループ会社
ワタミエコロジー(株)との協力作業の下、困難を乗り越え、目標を前倒
して実現したことは業界にとっても大きな前進です。現在は首都圏
100店舗での達成ですが、今後店舗数の拡大と共に、ここで培ったノウ
ハウを他社に展開することによるビジネス上の成功も期待しています。

今後の課題

次の時代に向けたコミットメント、そして更なる「ふれあい」へ

当面の目標であったゼロエミッションに一区切りついた今、ワタミに
期待したいことは「次の時代に向けたコミットメント」です。残念なが
ら今年の報告書からは「次は何をする」という中長期的な考えが明確に
伝わってきませんでした。次年度以降はコミット～方針～パフォーマンス
～成果～今後の課題という流れでの報告が望まれます。

また、ステークホルダーとの対話、双方向性についての情報が今回の
報告書には不足しているように思われます。次回の報告書がより強い「ふ
れあい」ツールになることを期待しています。

本所感は、本報告書に記載されている情報の正確性に関する第三者として
の意見表明を行うものではありません。

編集後記

ワタミグループ2004年度の環境マネジメントシステム活動は、対
象を全店舗及び本社、ワタミエコロジー(株)に加えて、今年度よりワ
タミグループの食材の仕込みを行う「ワタミ手づくり厨房」の2拠点を
システムに組み込み、さらに活動範囲を拡大していきます。また、リ
サイクルセンターを通じて、リサイクルの輪を広範囲に広げていくと
ともに、店舗から自社有機農場までの物流を確立させて生ゴミの堆肥
化に本格的に取組み、循環型リサイクルを推進させていきます。

外食産業を始めとする業務その他部門における地球温暖化ガスの発
生量は、国内の産業の中でも減るどころか年々増え続けています。この
現状を踏まえて、2004年度よりワタミグループは地球温暖化の大き

な要因であるCO₂の削減に注力していきます。その一環として、8月
よりエネルギー管理の仕組みを取り入れ、今年度は店舗における電
気使用量のムダを正確に把握し、タイムリーな削減対応策を取って
既存店の電気使用量7%削減に挑戦します。

私たちの基本理念は現在進行している地球規模となった環境問題
の改善に寄与することです。

今年度より、ワタミグループでは地球温暖化への取組みを「最優
先課題」として前向きに取組んでまいります。

ワタミグループ環境推進リーダー 遠藤 恒夫

ふれあい報告書2004

2004年9月発行(次回発行予定2005年9月)

ワタミフードサービス株式会社

環境・社会活動報告



ワタミフードサービス株式会社
東京都大田区羽田1丁目1番地3号(〒144-0043)
お問合せ先TEL(03)5737-2784 FAX(03)5737-2793
ワタミふれあいホームページ <http://www.watami.co.jp>
ワタミエコロジー株式会社
東京都大田区羽田1丁目1番地3号(〒144-0043)
お問合せ先TEL(03)5737-7101 FAX(03)5735-5531
ワタミエコロジーホームページ <http://www.watami-ecology.co.jp>

R100
古紙配合率100%の再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOYINK™



この報告書は、古紙パルプ100%とアロマフリータイプの「大豆油インキ」を使用しています。印刷には強いアルカリ現像液を使用しない水なし方式の平版印刷を採用しています。